

### 3. 南海トラフ巨大地震と巨大津波対策について

東日本大震災とその直後に発生した大津波により、東日本太平洋沿岸広域にわたり甚大な被害となり、尊い人命と財産が失われ、いまだ避難生活を強いられており、復興が進まず経済活動も停滞している地域があります。

県知事はじめ県当局におかれましては、近い将来発生するといわれている南海トラフ巨大地震、その直後の巨大津波対策を最優先で取り組まれていると認識しております。

土佐清水市は南海トラフ大地震発生時、清水港・あしずり港の両側から大津波が中心市街地全体に押し寄せると予測されています。このことから、住民の高台避難や市内医療拠点へのアクセス性確保、経済活動の停滞を少しでも解消するための対策として、重要な「命の道」の役割を果たす、国道321号市街地間の高台ルート整備について経済団体として強く要望します。

平成24年11月12日

土佐清水市経済団体連絡協議会  
会 長 廣 田 勝